

のう がく はか せ たか はし かつ み しょう とく ひ
農学博士 高橋克己 頌徳碑



Monument Commemorating Takahashi Katsumi, Doctor of Agriculture

高橋克己(1892-1925)は、世界ではじめてタラの肝油からビタミンAを分離抽出したことで知られる科学者です。この碑は、高橋克己博士顕彰会によって、昭和44(1969)年に建てられました。

明治25(1892)年、海部郡木本村(現和歌山市木ノ本)に生まれた高橋は、県立和歌山中学校、官立第三高等学校を経て、大正3(1914)年に東京帝国大学農科大学農芸化学科に入学しました。大正6年、大学院に進み鈴木梅太郎の研究室で油脂の研究に取り組み、卒業後も理化学研究所研究生として研究を続けます。大正11年、ついに世界に先駆けて油脂からのビタミンAの抽出に成功し、翌年イギリスから特許を受けました。その後、ついに世界に先駆けて油脂からのビタミンAの抽出に成功し、翌年イギリスから特許を受けました。その後、ついに世界に先駆けて油脂からのビタミンAの抽出に成功し、翌年イギリスから特許を受けました。その後、ついに世界に先駆けて油脂からのビタミンAの抽出に成功し、翌年イギリスから特許を受けました。

Dr. Takahashi Katsumi, born in Wakayama City, was the first scientist in the world to isolate and extract vitamin A from cod liver oil. This monument was erected in his honor in 1969.

Born in 1892, Dr. Takahashi enrolled in the Tokyo Imperial University College of Agriculture's Department of Agricultural Chemistry in 1914 and, after moving on to graduate school, he pursued research on oils and fats under Professor Suzuki Umetarō. In 1922, Dr. Takahashi performed the world's first successful extraction of vitamin A from an oil. His promising career as a scientist was just beginning to unfold, when, in 1925, he succumbed to an illness and died at the young age of 32.



高橋克己の写真
Takahashi Katsumi photo